

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木島平村の観光客“30万人に増”作戦
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 木島平村観光振興局 (電話 0269-81-1621)
事業区分	⑥ 産業振興、雇用拡大に関する事業/イ 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	548,266 円 (うち支援金: 438,000 円)

事業内容

木島平村の主要産業は農業と観光であるが、木島平村の観光客入込数は、平成12年のピークで53万人が、26年には23万人と観光客の減少している。

そこで「木島平村観光基本計画(H28)」を策定し事業実施を図るなかで、

①滞在型観光の推進

…旅行商品の開発、実施

②観光資源魅力アップ化の推進

…JRおいこっこの郷土料理弁当の開発

③広域連携観光の推進

…JRおいこっとへの参加

④インバウンドの推進

…インド人旅行客の受け入れ

により観光客増の取組を図った。



インド人旅行客の受け入れ



郷土料理弁当の開発

【目標・ねらい】

木島平村の観光客増による地域経済の活性化

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

平成26年に23万人であった観光客は、平成28年、29年ともに21万人となっている。平成30年は推測値ではあるが22万人と前年度より微増しており、上記取組の成果が表れている。

- 平成27年 19.8万人
- 平成28年 20.7万人
- 平成29年 20.9万人
- 平成30年 21.4万人(見込み)

※自己評価【C】

【理由】

事業の実施により観光客の微増となったことによる

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

①滞在型観光の推進

…村内経済への波及効果が高い旅行商品の素材発掘と旅行商品づくりを行っていききたい。

②観光資源魅力アップ化の推進、③広域連携観光の推進

…車中弁当を参考に、村内でも特産弁当として販売出来ないか検討を進める。

④インバウンドの推進

…海外団体旅行客に加え、個人旅行客についても受入体制を整備していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある